

アルミ箔用OPニス（トルエンタイプ）

PT OPニス

PT OPニスは、医薬品包装（PTP包装）の外表面印刷用途を目的として開発した、一液タイプの熱硬化型OPニスです。従来の硝化綿系OPニスでは得られない優れた耐熱性を有し、ブリスター充填機における錠剤の高速自動充填に対応できます。

■ 特徴

- 一液タイプの熱硬化型で設計しており、二液タイプに比べて印刷時の作業性が良好です。
- 十分な焼付けにより、300℃のシール温度でも優れた耐熱性を発揮します。
- 一般の未処理アルミ箔基材（硬質、軟質）に対して、高い接着性を有します。
- 通常のグロスタイプの他に、マットタイプもあります。マットタイプは主にPTP包装で使用実績があります。

■ 適用原反

- 硬質アルミ箔、軟質アルミ箔

■ OPニスの使用方法

- 標準希釈溶剤：PT 2号溶剤
- 印刷粘度：14～18秒（ザーンカップ No.3, 25℃）をお勧めいたしますが、設定する塗布量に合わせて調整して下さい。
- 推奨焼付け条件：150℃×10秒（熱風乾燥炉）
上記焼付けにより、ヒートシールテスター300℃×3kg/cm²×3秒の条件において、印刷物の耐熱性に影響を与えません。
- 推奨下地インキ：
PPZ-C インキ（PTP・PPシート構成用）
MSP-N インキ（PTP・PVCシート構成用）

■ 注意事項

- 一液タイプの熱硬化型OPニスの為、製品保管の際に加温されるとOPニスの増粘やゲル化の原因となります。製品の加温を避けて、危険物倉庫内の冷暗所にて保管してください。
- 印刷物の良好な高耐熱性や仕上がりを得るために、下地インキはオフラインでの印刷、焼付けをお願いします。インラインでの印刷、焼付けでは、硬化不良による耐熱性低下等の問題が懸念されます。
- 貴社焼付け条件にて、予めOPニスの熱硬化性をご確認ください。
- 諸物性は当社試験方法に基づくもので、アルミ箔の材質、印刷条件などによって、貴社の必要条件に適合しないケースも考えられます。
 - ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
 - ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
 - ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート（SDS）をご一読願います。